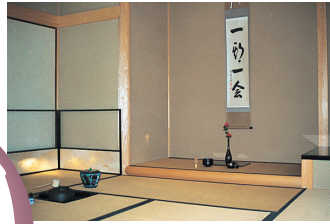


# 茶室

## 静寂と安らぎのひととき

森を抜けると、緑に囲まれた本格的な和風建築に出会う。四季折々を感じさせてくれる森の表情、  
そして静かにたたずむ公園自慢の茶室「成蹊閣」  
風が運ぶ小鳥たちの囀り、木々のささやきをききながら、お茶会はもちろん、お花の集い、  
仲間同士が集まっての団らんのときをお過ごしください。



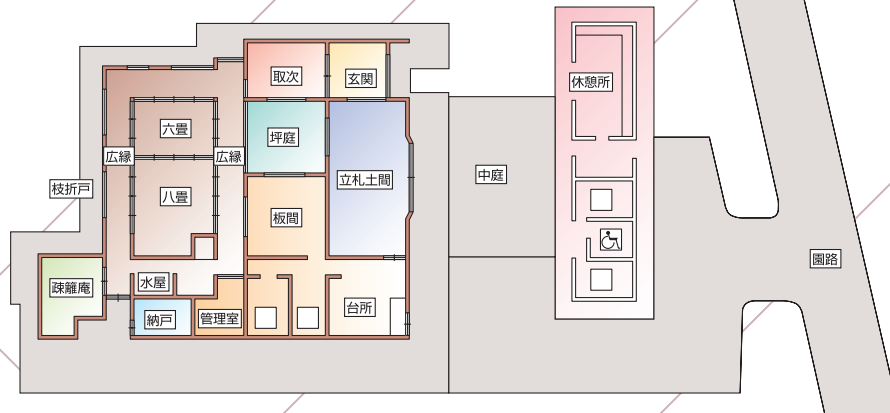
屋外でお茶を楽しむのも一興、  
形式にこだわらず、気軽にお茶をお楽しみください。



一隅ぐうに設けられた小間そりあん「疎籬庵」、  
にじり口をくぐれば、そこは別世界。  
本格的なお茶会を体験してみても。

# 茶室「成蹊閣」の ご使用にあたって

## 成蹊閣平面図



### ■命名の由来

- 建物全体の名称……「成蹊閣」(せいけいかく)  
「桃李不言下自成蹊」桃李は何一つ語らないが、花が美しく大変おいしい果物があれば、木の下に自然に蹊(小道)ができる。(出典:史記)
- 茶室(四畳半小間)の名称……「疎籬庵」(そりあん)  
「疎籬不<sub>レ</sub>護し花 野蝶来<sub>レ</sub>還去」花を独り占めしてはなりません。まがき(柴や竹で編んだ垣)は、まばらにしています。出入り自由な蝶のようにどうぞお入りください。(出典:広瀬淡窗(江戸後期)の漢詩「春好」)

※茶室には、茶道具類などをご用意しています。

詳しくは係員にご相談ください。

※お車でお越しの方は、第2・第3駐車場が便利です(徒歩約5分)。